

プログラム	エビデンスとプラクティスの両立 1
テーマ	<p>始めて分かった医療関連感染サーベイランス</p> <p>～失敗から学び、困難を乗り越えて掴んだ成果！～</p>
セッション概要	<p>医療関連感染サーベイランスは、その発生状況を把握し、感染を減少させるための客観的指標として医療関連感染対策に欠かせない活動である。医療関連感染サーベイランスを行う意義として、「サーベイランスを行うと感染が減少する」「介入前後の感染率などを比較することにより、感染対策を評価することができる」「感染率などを他施設やベンチマークと比較することで、自施設の医療関連感染発生に関するレベルを評価することができる」などがあるが、病院規模や施設背景によって適当なベンチマークがなかったり、数値解釈などの知識や自施設の評価、マンパワー不足に苦慮しているICNも多くいると思われる。</p> <p>サーベイランスを行っている ICN も一朝一夕で出来たわけではなく、限られた時間と資源で行わなければいけず、失敗しながら試行錯誤してスタッフを巻き込み、成果を生みだしてきたと思われる。サーベイランスを行うコツの一つとして、ターゲットを絞って実施することかと思うが、データ収集や解析で止まることなく、フィードバックをすることにより、サーベイランスで収集したデータが生きてくる。</p> <p>サーベイランスをはじめたきっかけ、時間やスタッフとの連携、フィードバック方法の工夫、自施設の評価、成果など経験したことをお聞きできれば、これから始める ICN やサーベイランスに苦慮している ICN の今後の参考にできると考える。</p>